

# 根堀台

第31号



由利中学校 学校便り  
平成三十一年二月六日(水)

発行者 校長 佐々木克也

## 想定外

平成31年由利中学校生徒会役員選挙

# 女子副会長得票数同数 二人当選

一月三十一日(金)に由利中学校生徒会役員選挙の立会演説会並びに放課後に選挙が実施されました。

結果は以下に示す通りですが、女子副会長の結果は、前代未聞でした。何と全くの同数だったので。当初、選挙管理委員会では、決選投票をする」と明言していましたが、規約には、そのような記載がありません。通常の選挙では、抽選をするのが常のようですが、それも規約にはありません。そこで、本年に限り女子副会長を二名体制にする事となりました。来年度以降も同じ事が起こる可能性があるため、規約改正の準備を進めています。何はどうかあれ、平成三十一年度のリーダーが決定されました。演説会で述べた公約をしっかりと果たせ

るよう頑張ってもらいます。

【新役員】  
生徒会長

2 A ○ ○ ○ ○ ○



男子副会長

2 A ○ ○ ○ ○ ○



女子副会長

2 A ○ ○ ○ ○ ○



1 A ○ ○ ○ ○ ○



執行委員

2 A ○ ○ ○ ○ ○



### 三年租税教室実施

二十四日(木)には、三年生を対象に社会科の時間で租税教室を実施しました。税理士の高橋静榮さんを講師として派遣して頂きました。税の種類や租税の仕組みを学ぶ事ができました。



2 A ○ ○ ○ ○ ○



# 水辺プラザ雪まつり ボランティア大活躍

二月三日(日)は西滝沢小跡地で水辺プラザ雪まつりが実施されました。西滝沢子ども水辺協議会の主催で行われていますが、春夏秋冬に行われるイベントには、本校生徒がボランティアとして参加しています。女子は雪上運動会の競技補助に、男子は、「スノーモービルで遊ぼう」の補助を行いました。当日の午前中は、小春



どんどん焼きの準備に雪を固めています



幼稚園児の雪灯籠作りを補助しました

日和でイベントには最高の天候になりました。述べ三百人ほどの人出になり、ちびっ子達は汗を流してイベントを楽しみました。NPOの事務局長の元由利小校長の〇〇〇〇先生からは、中学生の力がこれらのイベントを支えてくれている。これからの由利地域を盛り上げる原動力であるというお話がありました。今後も協力していきます。



当日夕方四時三十分頃に雪灯籠のろうそくに灯がともりました。とても幻想的でした。金市先生が法螺貝を吹いて人を集め、いよいよ塞ノ神行事が始まりました。塞ノ神行事とは、全国的にはドンド焼きと呼ばれ一月十五日に村境などで行われた火祭りの事です。この時、門松・竹・注連縄(しめなわ)等を集めて焚くのですがその場所をドンド場と言われ、村境の道祖神を祀った場所であったよ



うです。現在は、集落でドンド焼きをやっているところは、殆どないので、このイベントは貴重です。神主に拜んで頂き、点火されました。点火の担当は、由利中同窓会長の〇〇〇〇さんでした。瞬間に火の粉が舞い、勢いよく燃え上がりました。時折、竹のはじける音がパーンと響きました。火の粉を浴びると健康になると誰かがつぶやくと、ちびっ子達は空から落ちてくる火の粉を被りました。

この行事を「とりほい」とも言います。火を見ながら鳥や虫の害がないように「とりほいの歌」を歌ったものだそうです。貴重な民俗行事の復活を嬉しく思いました。

## 校長の独り言

インフルエンザの猛威に敗れ、学級閉鎖を余儀なくされました。そのため、館町出身のオペラ歌手伊東大智さん出演のカダレクラシックコンサートへも行けなくなりました。私自身、クラシックはそれほど好きではありません。どちらかといえば間もなく還暦になろうとしている今でも、ダ・パンプ等の忙しい音楽を好みます。でも、チケットは買つてあつたし、〇〇さんには、当日行きますと約束をしていたので、カダレに出かけました。何と前から三列目の十九番でど真ん中の席でした。

コンサートは、テノール二人にピアノ三人で行われ、十三時半から十六時まで内容が本場に濃いものでした。最近あまり感動することがありませんでしたが、演奏の素晴らしさと美しい声に鳥肌が立ちました。来年は全員で行きましよう!